

# Super GT Rd1 OKAYAMA Race Report

2022/04/16-17





## General Comments:

大切な開幕戦。出だしがとても重要という事と、ポイントを1ポイントでも多く持ち帰る事を最低限の目標にして挑みました。

## Qualify : P14

フリー走行のペースから考えるとQ1突破はぎりぎりといった状況でした。今年1発目のQF1担当は自身がする事になりました。星野監督からは、「平峰、頼んだぞ。」と言われ自身は「わかりました。」とだけ伝えました。

そして、いざQF1アタックへ。Sector 1までは自己ベストを更新していましたが、まさかの前の車両がスピンをしスペースを落とさざるを得なくなりました。タイヤのPeak Gripが一番おいしいときにアタックをしたかったのですが、仕方ありません。もう一度、タイヤを少し冷やして再度アタック。ヤバいかもしれない…そう思っていました。何とかQF1を7位で通過する事が出来ました。正直いうと、アタック中の記憶があまりないのです。かなり集中して無心になっていたのだと思います。

そして、QF2をアタックする事となったBaguette選手は、熱い走りとベストを尽くしてくれて7位でフィニッシュする事が出来、決勝は勝負が出来る位置からのスタートとなりました。

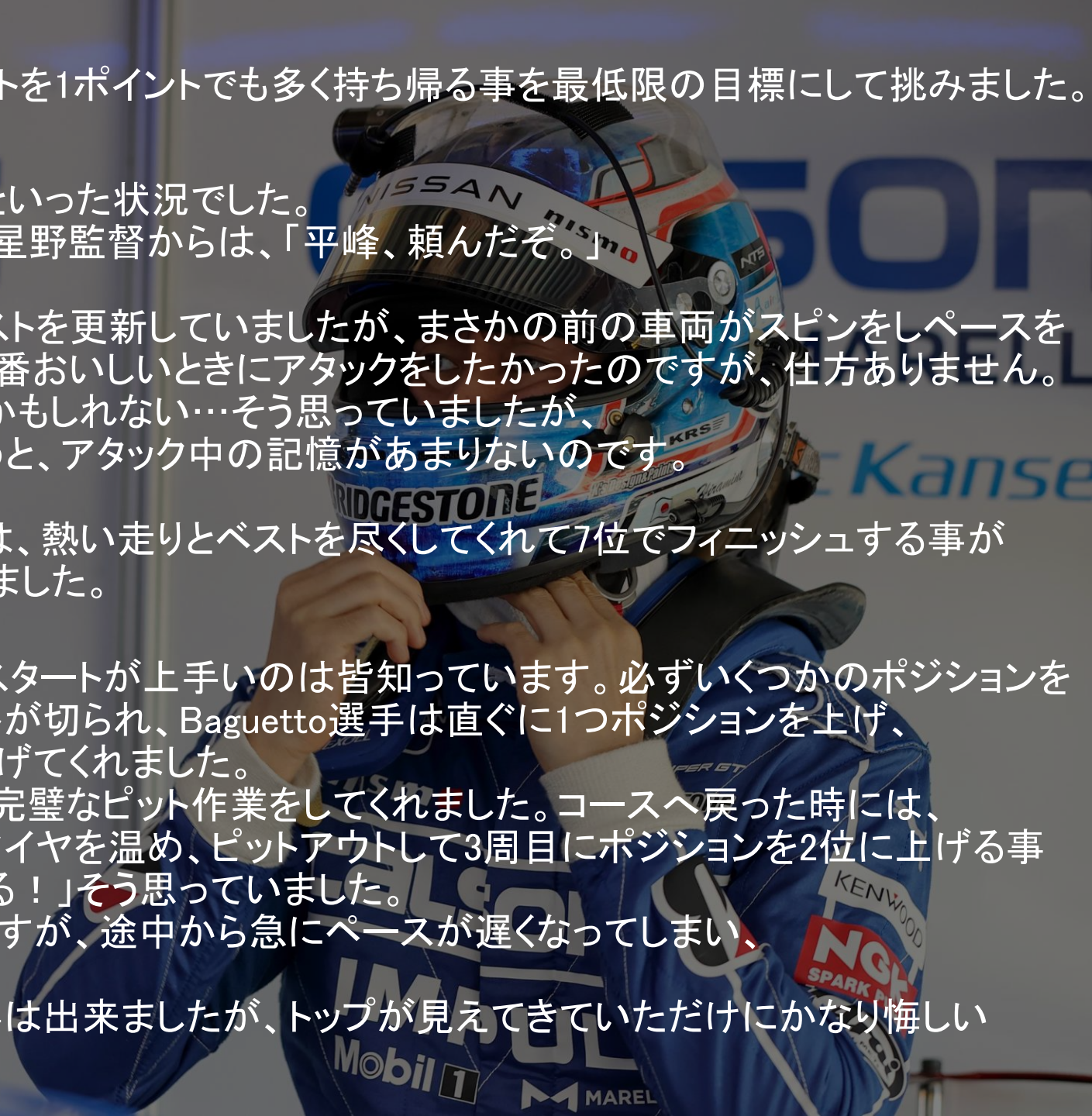
## 300km Race : Finished P7

開幕戦のスタートはBaguette選手となりました。彼のスタートが上手いのは皆知っています。必ずいくつかのポジションを上げてくるぐらい定評があります。そして、いざスタートが切られ、Baguette選手は直ぐに1つポジションを上げ、ステイントを終えるころには、5番手までポジションを上げてくれました。

そして、32周目にピットインし、自身へ交代。チームは完璧なピット作業をしてくれました。コースへ戻った時には、3番手にまで上がっていました。自身も気合を入れてタイヤを温め、ピットアウトして3周目にポジションを2位に上げる事が出来ました。この時は、「トップが見えてきた！いける！」そう思っていました。

30周以上、背後にいた38号車ZENTを抑えていたのですが、途中から急にペースが遅くなってしまい、みるみるポジションを下げてしまいました。

結果的には7位でフィニッシュし、ポイントを持ち帰る事は出来ましたが、トップが見えてきていただけにかなり悔しい結果となりました。







# ！まだまだこれからだ！

スポンサーの皆様、開幕戦OKAYAMAでは沢山の熱い応援を有難うございました！結果は7位で終え、貴重なポイントを持ち帰る事が出来ました。最後にペースが落ちてしまった原因がチームとのミーティングで判明し、次戦の富士では同じことにはならないと思っています。

今年からマシンがGT-RからZ GT500に変わりライバル達と戦えるだけのポテンシャルがあると感じています。レースでは一時はトップも見えてきていたので、「戦える！勝負できる！」そう強く感じてます。

次戦の富士は5月3-4日ともう直ぐです。僕的には、明日にでも戦いたいくらいですが、次戦は450kmといつもより150km距離が長いレースとなりますので、体力作りなどもしっかりと行って、自分自身を追い込み準備を進めていきます。次戦もとことんライバル達とバトルをして、出し切ってきます。引き続き、応援のほど宜しくお願い致します！

